

稲作のプロ集団による大規模農業

「コシヒカリ」「ひとめぼれ」のかわいらしいパッケージは、営業部でJGAP指導員の立石弥生さんがデザイン



経験者と若手が力を合わせ 10 種の米を実らせる

「21世紀の農業を元気にする」をテーマに掲げるこめ奉行。長い農業経験を持つ立石和子代表を中心に、若手社員たち全8人が農業に従事し、農作業の代行や委託、請負、農産物の検査、販売まで行う大規模農業を展開する農業会社だ。機械の大型化による作業効率アップ、土質や気候により品種を分散する工夫などで、現在、

酒米・食用米・畜産飼料米と、用途の違う10種の米を栽培。社員には美容師から転身した人や研修生もいて、「前の年より良い結果を」とそれぞれが責任を持って頑張っている。明るく元気いっぱいのメンバーが、耕作放棄地の解消や、若手就農家の育成を担っている。

大型機械で効率よく稲刈り。刈り取り時期が集中しないよう、品種を分散している



こめ奉行からたくさんのおいしいを！

2006年に持続性の高い農業生産方式を導入。2018年には安全に関わる農業の国際基準「JGAP」を取得。稲作のプロ集団が作る自慢の米「ミルキークイーン」「ひとめぼれ」「コシヒカリ」などは9月初旬から順次出荷される。



早めに収穫が始まる「ミルキークイーン」。粘りが強く、もちもちとした食感が特徴

おしゃれな作業服が似合う農業男子募集中！やる気さあれば十分活躍できます！

立石さんのごほんの友

ふみちゃん家のたまご



菅藤養鶏場が作る「ふみちゃん家のたまご」を、シンプルにたまごかけご飯にして食べるのが最高だそう！

生産部
立石貴志さん

こめ奉行



広島市内でこめ奉行の作った米を提供する飲食店が増加中。世羅町内でも、こめ奉行の米を購入できる。

☎ 世羅郡世羅町上津田 10111-3
☎ 0847-39-1956
🌐 <http://www.komebugyo.jp/>

桜の山農場



桜の山農場では見学も可能。季節ごとに自然と暮らしにふれあえるイベントを開催中。詳細はHPをチェック！

☎ 三原市高坂町真良 248-1
☎ 0848-66-1927
🌐 <https://www.sakurano-yama.com/>

坂本さんのごほんの友

ピリリと辛い「キムチ」



坂本家のご飯の友ナンバーワンはキムチ。特に新米との相性は抜群！ほかにも納豆や豚肉、卵と合わせるのもお気に入り。

「持続可能な農と暮らし」を目指しています

坂本耕太郎さん

こごだけGOHAN

こだわり農法で作られる大地の恵みをレポート！

手塩にかけて育てた有機栽培米 & 養豚

「ひのひかり」のラベルは、坂本さんの妻である梨恵子さんの手描き

豊かな自然が広がり、稲作に適した気候の三原市高坂町。有機稲作を手掛ける農家が集まって、使用する肥料や除草方法を工夫しつつ、安心安全な米づくりを行っている。

2008年から、農業を使わない米づくりを続ける「桜の山農場」。代表の坂本耕太郎さんは、早くから有機稲作に取り組んでいた両親の影響もあり、現在コシヒカリとヒノヒカリ、ミドリ

モチを有機栽培している。腰をかがめて作業をしていると、地球と向き合っているように感じるそう。夏場の除草は重労働だが、基本的には手取り作業で除草剤は使わない。田植えを始める前に土壌を改良し、雑草を生えにくくするなど、知恵を絞る。

しっかりと手間をかけ収穫する米は、9月中旬から年間契約者優先で販売を開始するそうだ。



桜の山農場のこだわり

桜の山農場のもう一つの柱が養豚。地元の廃棄食材を集めて発酵させた独自の餌を食べ、普通の倍の時間をかけてのびのび育つ豚たち。良質な肉は、レストラン等で味わえるほか、定期購入も可能。「普通の豚肉と違う！」と好評の肉を、ぜひ味わってみたい。



自ら改修した山小屋で、薪を使ってほぼ自給自足生活！